



「さーん、にー、いーち、地震に負けるなあー！」1200人の心が、声がひとつになった。そして共鳴し、米子産業体育館を大きくゆらした。

12月5日、プロレス団体FMW様の御厚意により鳥取県西部地震災害支援チャリティマッチが開催された。被災された方々に力一杯のファイトで元気を、そして当日来られた方のお気持ちで集まった義援金を送ろうと、入場無料で行われた。係る経費は、米子JC・米子商工会議所青年部・そして我が西部青年中央会の会員、OBの方々の協賛広告費ですべて賄った。FMW様におかれては儲け無しで来て頂いたのは、云うまでも無い。

5時30分の開場時には150人ばかりの来場で不安であったが、時間を重ねるごとにどんどん集まっていただき、用意した900あまりの椅子では足らず、立ち見を含めた1200人の来場者で会場は熱気に包まれた。笑いあり、感動あり、ご来場の皆様には楽しんで頂けたと思う。それだけで、このイベントは価値があったと思う。客観的に見ても成功であった。

ここで広告を出して頂いた方、当日スタッフとして働いていただいた方、御来場及び義援金をお出し頂いた方、そしてFMW様に厚く御礼申し上げます。ありがとうございました。

最後にこの記事をご覧の皆様もレスラーのかけ声はありませんが、心をつなげて叫びましょう。「さーん、にー、いーち、地震に負けるなあー！」

What's IT? (第5回)

あけましておめでとうございます！21世紀最初のコラムは、今後のインターネット接続環境について考えてみたいと思います。

21世紀はIT革命の時代と言われて久しいですが、日本の通信インフラは全くお寒い限りと言えます。最近になってやっとフレッツISDN、ADSLやブロードバンドなどのインフラが登場し、次第に整備されつつありますが、実用的な段階になるには後1～2年は掛かるでしょう。

先日アメリカ帰りの友人から聞いた話ですが、ホテルでインターネットを利用した場合、接続時間にかかわらず1回1ドルだったそうです。つまり、ホテルに入ったら繋ぎっぱなしにした方が徳と言うことです。

パソコンがテレビに取って代わる勢いで普及し、高速の通信環境が整いつつありますが、接続料金が現状のままなら、政府がいくら息巻いても日米格差は決して埋まらないでしょう。しかし、NTTの回線開放や通信料金の全国一律が崩れるなど良い兆しは見えております。

今、官民一体となってIT促進事業が進められようとしています。まだまだばら撒き行政の感があります。しかし、インフラと通信料金の両方で改革がすすめられれば、近い将来情報大国となる日もくるかも知れません。

新世紀幕開けは散文駄文でしたが、後半期間、よろしくお願ひ致します。

鳥取県西部地震有志によるボランティア活動報告 -倒れた墓石修復作業を行う-



11月20日頃から、西伯町において西部青年中央会と西伯町福祉協議会とが連携して、高齢者世帯に限定し墓石を直してほしい世帯を募集したところ30余りの応募が有志委員会釜田委員長の呼びかけのもと、第1回目として12月10日(日)に決行した。

当日は雨模様で道無き道を機材など担ぎ山奥へと上がって行った。そこで、見た墓石は無残な姿になっていた。

作業は、困難を極めた。果たして自分達でどこまで出来るのか不安はあったが、そこは中央会「魂」なせばなる何事も、を合言葉に当日参加17名の精鋭者達が16世帯・墓石の数を50基を次々に直していった。お年寄りの笑顔と感謝の気持ちで今までの苦勞を忘れれば出来ると言う自信と、ボランティアをして本当に良かったと言う満足感が心と体を癒していった。

そして第2回目、12月17日(日)我々は、職人にもなったような動きになり、高度な墓石直しも次々にこなして応募の有った合計34世帯・墓石数88基もの墓石を直す事が出来、たくさんのお年寄りから、これで安心して年を越せると笑顔で話す姿が、参加者全員の心に染み渡った。



1月例会案内

とき 平成13年1月15日(月) 18:30~
ところ ホテルサンルート米子
講師 株式会社 アルコン
代表取締役 尾沢三夫氏
演題 「企業人としての志」
担当 志委員会

1月役員会報告

1月定例役員会が平成13年1月5日(金)、米子食品会館に於て開催された。当日の主な議題は、次の通りです。

- (1) 1、2月例会開催の件
- (2) 新加入会員承認の件
- (3) その他

※尚、詳細については、委員長までご照会下さい。

編集後記

2001年 明けましておめでとうございます。
昨年、景気もどん底、鳥取県西部地震も体験しました。森内閣の改造も終わり、あまり関係もありませんが、ようやくアメリカ大統領も決まり、ちょっと安心かなと思ったりしますが、新聞紙面上には相変わらず良い記事が書いてないようです。
まあ、どっちにしても私達が頑張らないとならないようです。頑張るゾ！
《追伸》忘・新年会で皆さんお疲れのことでしょう。体に気をつけてください。

Handsome

「英知を養う」「フィロソフィア」
2001.1 No.159

発行人：鳥取県西部中小企業青年中央会 会長 土井一朗 編集責任者 浜 義徳 印刷所 東京印刷局

新年明けましておめでとうございます

新年のごあいさつ

鳥取県西部中小企業青年中央会会長
土井 一朗



新年あけましておめでとうございます。いよいよ新しい千年が始まりました。世界中が新しい千年を迎える喜びに満ちています。

振り返れば、20世紀は物作りの時代でありました。人類は大量生産・技術革新を成功させ、私たちの衣・食・住のレベルは驚くほど豊かに成りました。しかし、環境汚染や公害、経済至上主義に走りすぎた弊害など、21世紀に解決すべき難解な問題が数多く存在しています。

日本は、ここ50年「アメリカ型 豊かになる方法」を競って受け入れ、必死に努力してきました。そして「物に恵まれた幸せ」を実現させました。しかし、そろそろアメリカを目標とするのは卒業し、日本独自の道を切り拓く時がきているのではないでしょうか。

福沢諭吉の教えに「独立自尊の精神」「万物の霊として生きる」があります。先人の知恵を教えとし、経営を行わなくてはなりません。グローバルな世界競争の世紀だからこそ日本人として、日本の経営者としてのアイデンティティを確立しなければならぬと考えます。21世紀は「心豊かな社会」「自然との共存」がテーマとなるでしょう。

西部青年中央会は、今期テーマに「志と実学」を掲げ勉強しております。未熟な私どもではありますが、21世紀を素晴らしいものとするため、微力を尽くす覚悟です。

鳥取県中小企業青年中央会会長
奥森 隆夫



明けましておめでとうございます。昨年10月6日鳥取県西部地震が発生し、大きな被害がありました。被災された皆様心よりお見舞い申し上げます。

各地区青年中央会メンバーより心温まる義援金や西部の有志による墓石の直し等ボランティア活動をされたメンバーの皆さん、大変御苦労様でした。

ここに青年中央会ありと新たに認識されたことだと思っております。義援金は12月25日(月)に各地区会長及私県会長が被災された皆様に活用されますようにと、片山知事に委託したことをご報告させていただきます。

さて、県会長に就任してはや半期が過ぎようとしています。この半期に全国では中手ゼネコンの負債放棄や、そごうの倒産、全国的な公共事業の見直し等がありました。また地元においては師走にかけて倒産や閉鎖がありました。

中小企業の体力がかなりのスピードで落ちている証ではないかと思えます。21世紀元年を迎え、心を新たにこの厳しい経済環境をどう乗り越えるか、実践する時が来たようです。同業種交流及び異業種交流を全面に打ち出し技術や知恵を出し合って企業活動を行うべきです。

右肩上がり時代の終焉を迎えた今、我々は企業のトップとして自分の企業及び従業員を守らなくてはならないのです。

「勝組」になれるように頑張ってください。

残り半年余りとなりましたが、案として2月各地区委員長会議及4月海外研修等まだまだ活動事業が残っていますので皆様の御協力を御願ひし、会員の皆様の御健康と御多幸をお祈り申し上げます。

全会員 一致団結
現在、21世紀を担う人材の発掘をするべく会員拡大活動を行っています。各会員の方は共に中央会活動をしていく同志の発掘に引きつづき協力をお願いします。

12月忘年例会

今世紀も残すところあと13日となった2000年12月18日、鳥取県西部中小企業青年中央会12月忘年例会が21地球、ニューカマーズ委員会担当にて多くの来賓、OBの方々を迎え、米子国際ホテルにおいて盛大にとり行われた。

まず土井会長のあいさつに始まり、来賓のOB会長岡田端氏、鳥取県中小企業団体中央会事務局局長西村文夫氏に祝辞を頂いた。

そして商工組合中央金庫米子支店支店長の宮成秀男氏により乾杯が行われ歓談へと移り、なごやかなふんいきの中進行した。

次に西部地震で倒れた墓石を直すボランティアの報告を釜田“志”委員長から、TSCサッカー同好会の結成報告を夏山“総務”委員長からそれぞれ行われ、新入会員の紹介が続いた。

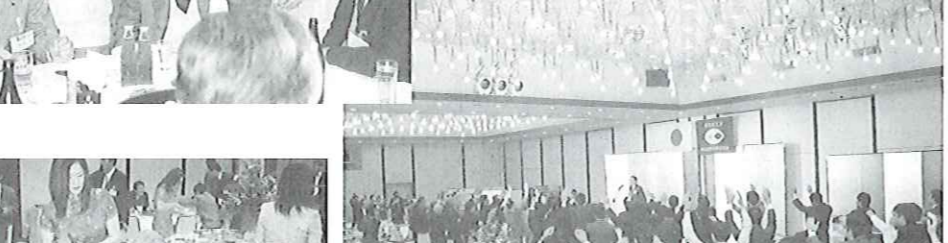
そして、メインアトラクションの「鳥取県西部地震復興支援チャリティーオークション」が中島太郎“ニューカマーズ”委員長と野嶋会員両名の進行により行われた。

このオークションには各会員が少しでも役に立てればと、かなり高価なものまで提供され、その総数は40品目を上回る数となった。

たくみな進行により、ゴルフクラブセット、高級スピーカー、食事券、地元で採れた品質の約束された野菜“だんだん育ち”等のいずれも次々と落札され大盛況のうちに完売した。

そして、その集計された義援金の総額は、なんと¥367,950になり、すばらしい結果であった。

最後に松田元OB会長の万歳三唱により締めくくった。



OBの力強い援護
新入会員拡大に力を注いでいる今年度。OBの方々も、忘年例会出席に先だち事前に召集していただき、会員拡大にOB会も協力体制をとることを申し合っていた。

12月度委員会報告

志委員会
平成12年12月11日(月) 於: 皆生・海潮園 出席者/12名

忘年会を兼ねる活動とし、1月担当例会に関する役割分担の発表とともに会進行における注意事項の確認、各役割の質議応答を打ち合わせる。1月委員会活動にて最終打ち合わせの時間をつくる。

会員発表(経営理念・中長期ビジョン)

金田(道) 会員…販売市場のせまい業界の中で生き残る為の理念とし顧客満足度へのこだわりを現社長が拘わり続け不況の時代を乗り越えている現状。

顧客への信頼を大切に引き続き5年が勝負であるだろうとコメント。良いものを作れば、顧客奉仕の気持ちがあれば勝てる。小原会員…社長の市場開拓から更に広く奥を心掛け、店経営を意識している。

顧客奉仕が基本であり、新しいビジョンを常に考え挑戦次の手、次の手を打ち、発想を豊かにかつ昨年と同じことはしないとコメント。

情報メディア委員会
平成12年12月8日(金) 於: 皆生・海潮園 出席者/10名

土井会長参加の下、20世紀最後の委員会でありました。11月例会の出席率の悪さを反省しまして、次回より例会の出欠のハガキをポストに投函する前に副委員長までFAXすることに決まりました。

後半へ向けて、1月以降の委員会の開催日程と内容を協議し、後半もがんばろうと確認し合った。

政治・地域ビジョン委員会
平成12年12月13日(水) 於: 皆生・海潮園 出席者/9名

11月担当例会の反省
1月委員会からの取組検討の後、忘年会を開催しました。

newカマーズ委員会
平成12年12月6日(水) 於: 皆生・海潮園 出席者/21名

21地球委員会との忘年例会合同担当に於ける打ち合わせ、及び21地球、総務との三委員会による合同忘年会。

実学委員会
平成12年12月9日(土) 於: 巳園 出席者/9名

西村金浩氏(如本有限会社代表取締役)を講師にお招きし、「実践から学んだサービス業」と題してご講演をいただいた。

しゃぶしゃぶをいただきながらの宴席にて、氏の異色の略歴・風評や(暴)関係者への対処術・「パドシティ」撤退にいたるまでのご苦労話・女性スタッフのスカウトにまつわる裏話・女性スタッフの悩み事相談・女性スタッフに嫌われる客のタイプ等、会員諸氏にとっては非常に興味深いお話を伺った。

■毎日が反省と後悔の連続
お客様に100%満足していただくために、どうすればより良いサービスを提供できるかを日々追求。

■形なきサービスの提供
無から有を生み出して提供する商売という性格上、スタッフ(人材)あつての会社であり、店舗である。

21地球委員会
平成12年12月6日(水) 於: 皆生・海潮園 出席者/11名

今回の委員会は12月忘年例会の最終打ち合わせをニューカマーズ委員会と合同で行った。当日のタイムテーブルに沿って内容詳細を確認し、各責任者並びに補佐に注意点を喚起した。19時30分より忘年例会へと移行し、総務委員会も加わった大宴会となった。

総務委員会
平成12年12月6日(水) 於: 皆生・海潮園 出席者/13名

今回の委員会は、土井会長に出席を頂いた。会長より今、中央会の切実な問題である新入会員の増強について会員の勧誘、紹介を各人が真剣に取り組んで貰いたいとのお話しがあった。その後、21地球委員会、newカマーズ委員会との合同で忘年委員会が盛大に行われた。

広報委員会
平成12年12月5日(火) 於: 岩崎館 出席者/12名

ハンサム1月号の企画・打合せと上半期の反省後、忘年会。1月号は正月休みがあるため編集を12月中に取り行うとした。その後、忘年会に移り親睦を深めた。

青経連フットサル交流会 「それ行け、肉壁戦法!!」

11/29、青経連フットサル交流会は、「JOYフット米子」にて12:00にキックオフとなった。中央会チームは、堀田スポンサーの御厚意により、「TSC」と「HOTTA」のマークを入れたユニフォームに身を包み、いざ出陣。

第一回戦 米子JCVs 境港JCの試合を見て「は、速い。」と感じつつも、第二回戦 青年部vs 中央会へと闘志を燃やす。前半、ボコボコにされる。後半、体の温まった選手の反撃により5点を返すが、敗戦。

第三回戦は三位決定戦、米子JCVs 中央会。開始早々先取点を得る。終了直前には堀田直前会長のシュートが炸裂! 相手チームに止めを刺す。

決勝戦 境港JCVs 青年部。同点に次ぐ同点の接戦。6対6のまま時間切れ、同点優勝が決まった。

その後、懇親会会場「海王」、二次会「了」と夜更けのネオン街へ融けていった事を言うでも無い。

〈newカマーズ 長谷川貴久〉

